

# 議会だより

2016年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会運営委員会編集



## 9月定例会

第3回定例会は、9月2日から開会され、町長から提案のあった補正予算など20議案を、いずれも原案どおり可決し、5日に平成27年度各会計決算審査、8日に一般質問等を行って閉会しました。



| 会計名            | 補正額     | 総額         |
|----------------|---------|------------|
| 一般会計(第3号)      | 5千276万円 | 51億9千479万円 |
| 一般会計(第4号)      | 3千246万円 | 52億2千725万円 |
| 一般会計(第5号)      | 5千756万円 | 52億8千481万円 |
| 介護保険特別会計(第1号)  | 1千665万円 | 4億1千401万円  |
| 医療施設特別会計(第2号)  | 83万円    | 1億5千083万円  |
| 簡易水道特別会計(第2号)  | 366万円   | 1億8千953万円  |
| 簡易水道特別会計(第3号)  | 150万円   | 1億9千103万円  |
| 公共下水道特別会計(第1号) | 245万円   | 3億5千408万円  |

### 補正予算の主なもの

◆大雨による災害復旧費  
8千952万円

8月17日から9月1日にかけての台風被害による町道、明渠排水、水道施設などの補修、排水機場等操作業務など  
(一般会計補正第4号・第5号、簡易水道特別会計補正第3号)

◆流木等処理事業  
400万円

海岸に漂着した流木の処理  
(一般会計補正第3号・第5号)

◆土地改良事業  
600万円

農道、明渠の維持補修費を追加

◆宅地分譲地整備事業  
775万円

茂岩末広町の町有地を宅地分譲地として造成するため整備。建物の取壊しに330万円、水道管の布設に200万円、下水道公共柵の設置に245万円

◆町道維持補修工事  
200万円

小川南9線横断管補修工事

◆全道全国大会参加派遣補助  
60万円

豊頃壘球倶楽部の全国大会出場等への助成費を追加補正

※表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。



# 平成27年度 各会計の歳入歳出決算を認定

## 各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

| 会計名         | 歳入総額          | 歳出総額          | 差引額         | 翌年度繰越額     | 実質収支額       |
|-------------|---------------|---------------|-------------|------------|-------------|
| 一般会計        | 4,836,687,471 | 4,694,650,419 | 142,037,052 | 30,849,000 | 111,188,052 |
| 国民健康保険特別会計  | 673,177,126   | 624,243,650   | 48,933,476  | 0          | 48,933,476  |
| 介護保険特別会計    | 380,715,245   | 360,592,414   | 20,122,831  | 0          | 20,122,831  |
| 後期高齢者医療特別会計 | 56,671,654    | 56,366,238    | 305,416     | 0          | 305,416     |
| 医療施設特別会計    | 107,364,775   | 106,011,657   | 1,353,118   | 0          | 1,353,118   |
| 簡易水道特別会計    | 323,214,136   | 318,711,983   | 4,502,153   | 0          | 4,502,153   |
| 公共下水道特別会計   | 201,705,278   | 199,685,965   | 2,019,313   | 0          | 2,019,313   |

平成27年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定することに決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

このほかに、平成27年度東十勝消防事務組合一般会計決算が議会に提出され、本会議において審議を行った結果、認定することに決定しました。これは、当組合が平成28年3月31日に解散したことから、消防団に関する事務を承継した各組合構成町において決算審議するためです。

広報とよこ

議会だより  
▽平成27年度各会計の歳入歳出決算を認定

役場だより

### 【その他の議案】

#### ▼工事請負契約の締結

下水道施設機械設備改築更新工事の契約。金額は5千989万円。

#### ▼物品の取得

スクールバス（乗車定員29名）1台を購入。金額は700万円。納入期限は平成29年1月12日。  
豊頃中学校生徒用コンピュータ機器一式を購入。金額は1千372万円。

#### 【人権擁護委員候補者推薦】

12月31日で任期満了となる河原葉子氏の後任に津久井淑恵氏（礼作別）を推薦したいとの諮問があり、これに適任と答申しました。  
なお、任期は平成31年12月31日までの3年間です。

#### 主な審議内容

#### 平成28年度補正予算

Q 災害用備蓄食料の保管状況は？

A ご飯類を1千食、パンを200食、水を480リットル、その他副食類を保管している。

Q 避難指示発令中に固定電話が一時つながらなかったがその対応は？

A 各行政区長に回覧文書を配布するとともに、防災無線により、電話がつかない状況の周知に努めた。

Q 排水ポンプ車による内水排水の状況と今後増車する意向はないか？

A 国所有2台、町所有1台の排水ポンプ車を稼働した。排水ポンプ車は、大きいもので数億円することから増車は難しい。国、道と協議して住民の安全のため努力していく。

Q 流木等処理費の概要と今後の流木処理は？

A 浦幌町との共同事業により、海岸に漂着した流木が海に再流出しないよう、一時的に岸へ押し上げ堆積する。堆積した流木の処理は、海岸管理者である北海道が実施すべきで、早期処理の要請に努める。

Q 町有建物解体撤去工事に関して、全体事業の概要は？

A 茂岩末広町の土地2千19㎡と建物を、第2回定例会で議



決された予算により購入した。建物は取り壊した上で、5区画に分割し、個人住宅用地を想定した分譲地として整備する。整備が完成次第、できるだけ早く分譲していきたい。

### 平成27年度決算

**Q** 町税等の滞納者に対して差し押さえをするとき、生活状況の把握をしているか？

**A** 滞納者とは、差し押さえをする前に十分協議することにも、家庭状況の把握に努めている。

**Q** 固定資産税の今後の見込みは？

**A** 企業の参入等により、固定資産税は増加が見込まれる。住宅の新築では、税の軽減措置があることから大きな増加は期待できない。

**Q** 地方交付税の今後の見込みは？

**A** 人口の減少により、地方交付税は減少が見込まれる。今後人口の減少を食い止める対策を進めていく。

**Q** 宿泊施設改修事業補助による事業効果は？

**A** 施設内部の改修により、宿泊者から好評を得ている。

**Q** 宿泊施設の経営者に対して更なる企業努力を求めている？

**A** 直接的な行政指導はできないが、町の施設であることから要望していきたい。

**Q** 木工芸館の今後の利用は？

**A** 利用者数の減、作業機械の老朽化により現在休館している。今後、庁内で施設の方向性を検討していく。



今後の利用が検討される木工芸館

**Q** 林業研修センターの今後の利用は？

**A** センターは取り壊した上で、イベント資材の格納庫を建設する方向で検討している。

**Q** 町民芸術鑑賞会食糧費の支出とあるが？

**A** 鑑賞会出演者への飲料、軽食を支出したものの、食糧費の支出は、必要最小限の範囲となるよう努めている。

**Q** 文化公演支援事業補助の事業実績は？

**A** 昨年度の実績は、1件であった。

**Q** 学校給食費に収入未済額がある。未納者の生活状況が心配だが？

**A** 未納者宅へ訪問するたびに、町の就学援助制度の説明を行っている。今のところ申請はされていない。

**Q** 国民健康保険税の徴収事務に対する方針は？

**A** 住民の税負担の公平性を考え、法律に基づき徴収事務を行っている。

**Q** 国民健康保険税の未納者に対して、短期被保険者証や資格証明書の交付はすべきでないと考えるが？

**A** 未納者との納付相談の中で、税の分割納付等誠意の見られない世帯に対して交付している。

「短期被保険者証」とは、国民健康保険税未納者のうち、納付への誠意が見られない場合に、通常の保険証の代わりに交付される有効期限の短い保険証。

「資格証明書」とは、1年以上国民健康保険税を未納する者のうち、納付への誠意が見られない場合に、保険証の代わりに交付される書類。医療機関受診時には、窓口で医療費の10割を負担し、後日申請により自己負担分を除く額が給付される。

**Q** 介護保険料の未納者への対応は？

**A** こまめに未納者宅を訪問し、保険料の分割納付など対象者の都合に合わせた徴収に努めている。



# 一般質問



大谷 友則 議員

## 福祉ゾーン構想の 今後は？

Q 福祉ゾーンの今後の施設整備計画は？

A 宮口町長  
高齢者定住促進住宅の更なる整備を計画している。また、将来的には特別養護老人ホームや公園の整備を考えていく。

Q 福祉サービスの充実を図るための具体的事業は？

A 宮口町長  
ボランティアによる生活支援の担い手育成、地域資源の開発を社会福祉協議会に委託して実施する。また、豊頃医院、歯科診療所

と連携して、認知症患者への早期対応できる体制を整備するなど、福祉ゾーンの効果を最大限活かす努力をしていく。

Q 社会福祉協議会と町との連携は？

A 宮口町長  
社会福祉協議会とは、連携を密にしてひだまり交流館の運営などの各種事業に取り組んでいる。今後も社会福祉協議会と協議しながら事業に支障のないよう進めたい。

## 旧はとや跡の 再利用は？

Q 取得から数か月経過した旧はとや跡の再利用計画は？

A 宮口町長  
茂岩市街の活性化が図られる観光拠点施設または商業施設への改修を考えている。国の地方創生活点整備交付金を活用し、来年度中に整備費の予算化を検討している。

Q 地方創生の視点からの方策は？

A 宮口町長  
地方創生の拠点施設にもしてい

広報とよこ

▽一般質問  
議会だより

役場だより

きたいと考えている。なお、将来的には、消防施設が隣接している場所であることを考えながら、利用方法を検討していくものと思っている。



再利用を検討している旧はとや跡



岩井 明 議員

## 台風被害の状況は？

Q 農業、漁業、林業等関連企業を含めた被害状況と被害額は？

A 宮口町長  
農業では、約430ヘクタールの農地が冠水するほかに、施設の破損、倒壊、生乳の廃棄、農業機械の冠水等の被害がある。漁業では、さけ定置網の設置を目前に、

相当量の流木が発生した。林業では、風倒木が見られる。被害額の算定は難しく公表できない状況である。

Q 台風被害に対する対応は？

A 宮口町長  
農業では、農道や明渠の復旧を進めている。漁業では、流木処理について海岸管理者への要請を行いながら、浦幌町と協議のうえ、障害にならないよう努めていく。林業では、林道の復旧を行っていききたい。また、農家の資金対策では、農協と協議しながら、利子補給などの支援対策を考えていく。



大津海岸に漂着した流木



異常気象による被害が心配される農作物



坂口 尚示 議員

**今年の異常気象による畑作農家への救済措置は？**

Q 6月中旬からの台風傾向、8月から9月の台風被害により収穫予測の付かない農家も多いが、どのように考えているか？

A 宮口町長

営農継続ができるよう、国、北海道等の関係機関に要請していきたい。また、町としての方策は、農協と協議しながら考えていきたい。

Q 農家の借入金への利子補給や固定資産税の減免は考えているか？

A 宮口町長

町として、農家の負担を抑える方法を検討していきたい。

**十勝川下流域における農地冠水対策は？**

Q 上流域での大雨により十勝川が増水すると、町内の雨量が少なくても被害が出ることに對して、どのような対策を考えているか？

A 宮口町長

排水機場等の排水機能の強化を関係機関に要望していきたい。



小笠原茂人 議員

**鳥獣被害対策における十勝川河畔林伐採の効果と事業継続は？**

Q 十勝川河畔林自然環境調査の調査区域は？

A 山本産業課長

豊頃大橋下流の十勝川左岸のうち、幌岡、旅来地区の一部。伐採区域は約63ヘクタール、そのうち伐採面積は約30ヘクタール弱である。

Q 自然環境調査、河畔林伐採物処理の今後の計画は？

また、豊頃大橋上流の十勝川左

岸区域では、エゾシカによる農業被害が多数報告されているが、河畔林伐採の考えは？

A 宮口町長

これまでの自然環境調査の結果を踏まえ、河川管理者である帯広開発建設部が実施する十勝川河畔林の公募伐採事業による伐採区域となるよう、今年度から要請を開始した。

エゾシカによる農業被害対策については、猟友会の協力を得ながら生息数の抑制を前向きに検討する。

**自治体が非常時に備えて定める業務継続計画(BCP)は？**

Q BCPの策定が国から要請されていると聞くが、町の状況は？

A 宮口町長

BCPとは、災害時に行政が災害対応等の業務を適切に行うための計画である。町では、BCPを改めて策定せず、明記が必要な重要事項について、一部を除き地域防災計画等に記載している。明記していない重要事項は、役場庁舎が使用できない場合の代替庁舎

と、業務を維持できる電源を確保する非常用電源設備の2項目である。

Q 役場庁舎が使用できない場合の対応を考えているか？

A 宮口町長

行政データは、バックアップを札幌に確保しており、庁舎が被害を受けた場合でも業務に支障のない体制となっている。庁舎が使用できない場合における代替庁舎の用意は考えていないが、その時の状況により、地域防災計画に沿った対応を考えている。



災害時の対応を明記する地域防災計画

Q ICT(情報通信技術)分野を活用した災害対応は？

A 宮口町長

地域防災計画に沿って、町民の生命、財産を守ることが重要である。今後、情報収集し、検討していきたい。

広報とよころ

議会だより

一般質問

役場だより



A 和田総務課長

市町村が住民の携帯電話へ災害情報や避難情報をメール送信する等の技術が開発されており、その有用性は認識している。

Q 福祉避難所の設置状況は？

A 宮口町長

社会福祉法人豊頃愛生協会と協定書を取り交わし、今年1月から、特別養護老人ホームとよころ荘とはるにれTokoroの2施設を福祉避難所に指定した。

Q 大災害によりすべての福祉避難所が開設できない場合の対応は？

A 宮口町長

仮定の話を基にした対応について答弁することは難しいが、法的に求められる福祉避難所ではなくとも、安心して避難できる場所を一時的に確保することは可能と考えている。

「福祉避難所」とは、災害時に要援護者が避難生活をするための二次避難所。高齢者、障害者、妊産婦、傷病者などの避難先として、施設の安全性、バリアフリー化等が条件とされている。

広報とよころ

▽一般質問  
議会だより

役場だより



大崎 英樹 議員

**まちひとしごと創生総合戦略、人口ビジョンの取組は？**

Q 総合戦略に掲げられた「安定した雇用創出」の取組は？

A 宮口町長

国の総合戦略における基本目標である「地方における安定した雇用を創出する」に対し、町は、「豊かな資源を活かしたまちづくり」を掲げている。数値目標では、平成31年度までに新規起業支援・企業誘致を5件、定住就業者数を30人増加としている。企業誘致は、行政だけではノウハウが少ないので、専門的知識や関心のある方等の意見を大切に前進していきたい。

Q 総合戦略に掲げられた「新しいひとの流れ」の取組は？

A 宮口町長

国の基本目標である「地方への新しいひとの流れをつくる」に対し、町は、「快適で魅力あるまちづくり」、「豊かな資源を活かしたまちづくり」を掲げている。数値目標では、平成31年度までに転入者を20%増、転出者を20%減とし

ている。特に、若者・子育て世代が住み続けなくなる環境の整備を進めたい。

Q 若い世代の結婚・出産・子育てへの取組は？

A 宮口町長

若い世代にとって出産・子育てが最も心配な面と考えており、それらへの支援制度を整備している。若い世代をターゲットに身の丈に合った福祉施策の充実が大切と考えている。

**こだわりある観光地域の魅力づくりの計画は？**

Q 地域資源を活かした今後の観光対策は？

A 宮口町長

はるにれの木をはじめとする豊かな自然、報徳のおしえ、大津海岸のジュエリーアイズなどの観光資源のPRに努めたい。本町のPRムービーション動画を作成して首都圏にて放映する計画があるほか、旅行雑誌、インターネット、新聞、テレビなど様々な媒体を利用していきたい。また、宿泊施設の整備、観光事業への支援継続を進めたい。



観光資源のはるにれの木

Q 新しい観光資源の発掘や、今ある資源の価値を高める対策を！

A 宮口町長

外部からの情報を大切にしながら、活気ある観光事業の推進に努めたい。

**意見書**

▷ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

▷ 平成28年8月の連続4台風による災害対応に関する意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

第3回臨時会（10月14日）

▼専決処分の承認

・一般会計補正予算（第6号）  
9月9日からの大雨被害による明渠排水の補修、内水排水の経費として、400万円を歳入歳出に追加し、予算総額を52億8千881万円とする補正予算を専決。原案のとおり承認。

専決処分とは、議会を開くいとまがないときなど、議会にかわって町長が処分（決定）すること。

▼一般会計補正予算（第7号）

本年9月から開始したふるさと納税による寄付者への返礼事業の経費、地方創生推進事業への補助など、2千91万円を歳入歳出に追加し、予算総額を53億971万円とする補正予算。原案のとおり可決。

▼工事請負契約の締結

大津地域に光ケーブルによるブロードバンド環境を整備するための大津地域情報通信基盤整備工事の契約。金額は5千940万円。原案のとおり可決。

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月25日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月25日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の10圃場9作物について1圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、5月上旬の強風により甜菜の再播種や馬鈴薯の植付作業が遅れ、6月から7月にかけての多雨・日照不足による豆類の生育の停滞、8月には台風第7号、第11号及び第9号などに伴う大雨による湿害と、度重なる異常気象の発生で、生育の遅延傾向に加え収穫量の減少、品質の低下が懸念される。

調査時点での作物ごとの生育状況は、甜菜については、直播作業は平年より早く始まったが、5月8日及び12日の強風による表土の飛散に伴い、出芽間もない直播圃場の再播、播き返し、移植直後の苗の折損などの被害面積が約98・2ヘクタールとなり、その後6月から7月にかけての断続的な降雨により、根部の肥大は緩慢になっており、さらに、8

月の台風により湿害が懸念され、平年の収量を下回る状況にある。豆類も、は種作業は平年より早く終了したが、湿害により生育の停滞や根腐病が発生し欠株が見られ、平年の収量を下回ることが予想される。



農作物作況調査

馬鈴薯については、日照不足により茎長は軟弱徒長し、一部圃場では倒伏や疫病が見られ、台風による湿害の影響も懸念されている。

牧草については、1番草は、生育、生収量ともに平年を上回り、2番草も順調に生育しているが、収穫の遅れによる影響が懸念される。デントコーンは6月から7月

の日照不足により生育が緩慢になり、草丈・葉数が平年を下回っており、収穫量の減少が懸念される。なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、6月の断続的な降雨、日照不足により登熟が遅くなり、また、開花後の降雨により生理障害が発生し、収量の減少と品質の低下が見られ、厳しい状況となった。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後も台風など天候不順による作物への影響が懸念されるところである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によつては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした圃場への泥炭土の受入れ継続など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等を通して指導を徹底されたいなどの意見が出された。

広報とよこら

議会だより

役員だより

## 議会広報研修会参加

8月23日に、札幌市において議会広報研修会が開催され、議会だよりの編集を担当する議会運営委員会委員4名が参加しました。全道から議員が参加し、議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に「住民に読まれ議会活動が伝わる議会報の基本と編集技術」のテーマで講演があり、読者である住民が読みたくなる議会広報とするための基本や編集技術などについて学びました。

研修後には、今後の広報づくりを活かしていくことを全委員で確認しました。



北海道町村議会議長会主催広報研修会

## 相馬市議会議長・滑川市議会議長 来町

9月11日に、本町の姉妹都市である福島県相馬市から植村恵治議長、谷津田政弘議会事務局長、星光総務部長が来町しました。

一行は、役場で藤田議長と懇談後、相馬市ゆかりの報徳二宮神社、尊親翁のお墓を参拝されたのち、産業まつりに参加されました。



二宮尊徳像前にて  
谷津田局長・植村相馬市議長・藤田議長・星部長

この日は、同じく姉妹都市である富山県滑川市から上田昌孝市長、中島勲議長、菅沼久乃議会事務局長、片口和人農林課長が来町しました。

当日は晴天に恵まれ、産業まつりに参加された皆様は、本町議員

と交流を深め、本町特産品の秋あじ、じゃがいも、とうもろこしなどを堪能されました。

また懇談では、8月から9月にかけて本町を襲った台風による農作物や漁業への影響を心配されていました。



産業まつりで挨拶する  
上田市長（中央）と中島議長（右）

### ◎ 会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222

FAX 015-574-3955

(議会事務局直通)

## 議会日誌

|         |   |      |
|---------|---|------|
| 8月23日   | 町村議会広報研修会   | 札幌市  |
| 25日     | 産業厚生常任委員会<br>(農作物作況調査)                                | 新得町  |
| 26日     | 十勝町村議会議長会議<br>議長研修会                                   | 新得町  |
| 30日     | 議会運営委員会   |      |
| 2日      | 第3回定例会(1日目)<br>(補正予算、その他)                             |      |
| 5日      | 総務文教常任委員会<br>産業厚生常任委員会<br>第3回定例会(2日目)<br>(平成27年度決算認定) |      |
| 8日      | 第3回定例会(3日目)<br>(一般質問、その他)                             |      |
| 11日     | 相馬市議会議長、滑川市議会議長来町                                     |      |
| 14日     | 第3回臨時会<br>議員全員協議会<br>議会運営委員会                          |      |
| 25日     | 産業厚生常任委員会<br>産業厚生常任委員会<br>(所管事務調査)                    | 鹿追町他 |
| 28日     | 札幌豊頃会   | 札幌市  |
| 31日     | 十勝町村議会議長会主催議員研修会                                      | 幕別町  |
| ◎ 今後の予定 |   |      |
| 5日      | 東京豊頃会   | 東京都  |
| 9日      | 全国議長大会  | 東京都  |
| 5日      | 議会運営委員会   |      |
| 8日      | 第4回定例会(1日目)<br>(補正予算、その他)                             |      |
| 14日     | 第4回定例会(2日目)<br>(一般質問ほか)                               |      |

※日程は変更になる場合があります。